

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
保健体育	体育	3	必修	R6・1	全HR
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材	アクティブスポーツ（総合版）				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2. 学習方法

<p>〈選択制授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの基礎基本や安全について学習し、自分にあった種目を選択して活動をする。 ・単元の始めに一斉授業で種目の基礎基本やルールについて学び、その後、グループ学習で主体的・積極的な態度で活動に参加し、仲間と協力をしながら工夫して技能の向上を目指して活動する。
--

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
体づくり	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。
器械運動	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 技の名前や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解する。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技などの自己や仲間の課題を発見し、道理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとするなど、お互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
陸上競技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超すことができる。 やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすると、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。

球技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い、教え合おうとする、健康・安全を確保したりしている。
武道	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考え方を他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保したりしている。
ダンス	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。
体育理論	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 <p>※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価基準は設定していない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。

5. 学習内容

学期	月	学習内容	学習の活動・ねらい	ICT 利活用
1 学期	4 月	オリエンテーション 体づくり運動 体育理論 新体力テスト	・1年間の流れを知り、体育授業における決まりや評価の規準について理解する。 ・自分の体力要素について課題を知り、目標と計画を立てる。	
	5 月	選択1 陸上・器械運動・ダンス	○オリエンテーション ・授業のねらいや活動内容を知る	○タブレット PC を活用する。 ・手本となる動きと自分の動きとの比較を行い、課題を見つけて解決する。 ・自分の動作・表現を
	6 月	選択2 ソフトボール バレーボール	・授業の流れを知る ・個人・グループ活動における取り組み方を学ぶ (活動)	
	7 月	選択3 バレーボール 卓球 ソフトテニス ソフトボール	一斉指導 ○基本技能を習得する ・用具の準備・片付け ・準備運動 ・基礎体力の向上	確認する ・試合の様子をみて、どのように動かないといけないかを確認する。
2 学期	9 月	体づくり運動 体育理論	・技能の向上 ・ルールの理解	○タブレット PC・電子黒板を利用する。 ・シュートフォームや動きの確認をおこなう。
	10 月	選択3 (1学期より継続して中間考査まで実施)	グループ活動 ○練習やゲームを楽しむ	
	11 月	選択4 バスケットボール サッカー	・用具の準備・片付け ・準備運動 ・チームスキルの向上	
	12 月	剣道	・個人及びチームの戦術の向上 ・活動に対する課題意識 ・課題解決への取り組み	
3 学期	1 月	選択5 バスケットボール		○タブレット PC・電子黒板を利用する。 ・試合の様子をみてイメージをつくる。
	2 月	バドミントン サッカー		
	3 月	ソフトテニス		

6. 教科担当者より

- ・受け身の態度で授業に参加することなく、自ら積極的に活動することを求める。
- ・種目の特性を存分に味わい、楽しさを経験し、その楽しさを仲間と共有して、生涯スポーツへとつなげて欲しい。
- ・時間を守ることや元気な挨拶、体操服の着こなしなどの授業の約束事を守り、スポーツマンシップや社会性を養ってくれることを期待する。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
保健体育	保健	1	必修	R6・1	全HR
使用教科書	現代高等保健体育				
副教材	現代高等保健体育ノート				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2. 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> 教科書にある図やグラフの解説、または内容に関連する動画等をICT利活用により視覚的に分かりやすく提示し、学習に対する理解を深める。 教科書の内容に応じてノートに内容を整理させたり、パワーポイント等で作成された資料を用いて適切な重要語句等を記入させたりすることで、内容の理解や重要語句との関連性を理解させる。 グループワーク等を通して課題発見や課題解決に対して主体性をもつことで実践力を身につけさせる。
--

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○オリエンテーション 1健康の考え方と成り立ち 2私たちの健康のすがた	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考 	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

1 学期	5 月	3生活習慣病の予防と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	<p>え方を踏まえて整理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		4がんの原因と予防 5がんの治療と回復 6運動と健康 7食事と健康 8休養・睡眠と健康			
	6 月	9喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由 	喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

	7月		<p>したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	<p>などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	
2学期	9月	<p>12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	<p>精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

2 学 期	10 月	<p>15現代の感染症</p> <p>16感染症の予防</p> <p>17性感染症・エイズとその予防</p>	<p>要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。</p> <p>・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
	11 月	<p>18健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>19健康に関する環境づくり</p>	<p>・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・健康を保持増進するための環境には、自然環境及び政策や制度、地域活動など様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。</p> <p>・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

2 学期	12 月	<p>1事故の現状と発生要因</p> <p>2安全な社会の形成</p> <p>3交通安全における安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	<p>安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
---------	---------	--	---	---	---

3 学 期	1 月	4応急手当の意義とその基本 5日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身につけるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	<p>応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
	2 月	6心 肺 蘇 生 法	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返って健康や安全について日常生活の中に見つけた課題を言ったり書いたりして、理解したことを実生活の中に取り入れようとする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を通して健康や安全についての課題を実生活の中でどのように取り組むのか話し合ったり、自分の意見を説明したりすることができる。 	<p>健康・安全について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
	3 月	〇1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返って健康や安全について日常生活の中に見つけた課題を言ったり書いたりして、理解したことを実生活の中に取り入れようとする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を通して健康や安全についての課題を実生活の中でどのように取り組むのか話し合ったり、自分の意見を説明したりすることができる。 	<p>健康・安全について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

5. 教科担当者より

- ・現代社会における健康課題を明確にし、学習した知識に基づいた行動を実生活へ取り入れてほしい。
- ・各単元における健康・安全にかかわる課題を仲間と共有しながら、互いの思考を伝え合い、必要性と妥当性について理解を深めてほしい。